

令和3年度 第12回 辻堂まちづくり会議 次 第

日 時：2022年3月24日（木）13：30～15：00

会 場：辻堂市民センター ホール

第一部

辻堂地区交通問題事業

- ・辻堂駅南口の道路改良について（道路整備課）

第二部

◎前回会議の議事録の確認について

1 議 題

（1）部会等からの報告について

くらし安心・安全部会（3/10）、辻堂交流部会（3/10）
福祉部会（3/17）、広報委員会（3/11）

（2）令和4年度会議日程について

（3）今期の活動の振り返り

（4）その他

2 今後の予定

○令和4年度第1回辻堂まちづくり会議

4月28日（木）13時30分から

以 上

令和3年度 第12回辻堂まちづくり会議 出欠状況

任期：2020年（令和2年）4月1日～2022年（令和4年）3月31日

No.	団体名又は公募	氏名	役職	部会	広報委員会	欠席
1	辻堂地区自治会長・町内会長連絡協議会	松本 喜夫		福祉	○	欠
2	辻堂地区社会福祉協議会	山田 泰司		くらし安心・安全		
3	辻堂地区青少年育成協力会	野澤 章子		福祉		欠
4	辻堂地区交通安全対策協議会	高橋 肇		くらし安心・安全		欠
5	辻堂地区生活環境協議会	吉田 紀行		辻堂交流		
6	辻堂地区防犯協会	橋本 美知子		くらし安心・安全		
7	辻堂地区防災協議会	福田 正三		くらし安心・安全		
8	辻堂東地区民生委員児童委員協議会	近藤 眞由美		福祉		
9	辻堂西地区民生委員児童委員協議会	國弘 信子	副会長	福祉		
10	辻堂公民館評議員会	伊藤 和子	副会長	くらし安心・安全	○	
11	高浜地域子ども支援会議	鷹野 三枝子		福祉	○	
12	辻堂地区社会体育振興協議会	望月 賢二		くらし安心・安全		
13	辻堂商店会連合会	小林 準一郎		辻堂交流		欠
14	辻堂地区老人クラブ連合会	片桐 賢		辻堂交流		
15	ネットワーク湘南堂夢	松尾 良子		福祉		
16	辻堂東地区いきいきサポートセンター	丸山 嘉代		福祉		
17	辻堂西地区いきいきサポートセンター	小泉 幹夫		福祉		
18	辻堂地区ボランティアセンター	北野 範之		福祉		
19	公募委員	横川 敬久		辻堂交流		
20	公募委員	森外 葉子		辻堂交流	○	
21	公募委員	木幡 元		辻堂交流		欠
22	公募委員	関岡 壽夫	副会長	辻堂交流		欠
23	公募委員	吉田 秀樹		辻堂交流	○	
24	公募委員	尾崎 文彦	会長	－	○	
25	公募委員	秋山 正行		辻堂交流		
26	公募委員	河住 靖則		福祉		
27	公募委員	久保田 恵		くらし安心・安全		
					出	21
					欠	6

令和3年度第12回辻堂まちづくり会議報告

(開催日時) 2022年(令和4年)3月24日(木) 13:30~15:00

(開催場所) 辻堂市民センター ホール

(出席者) 21名

(欠席者) 6名

(傍聴者) 1名

(議題等) 別紙次第のとおり

第一部 辻堂地区交通問題事業

- ・辻堂駅南口の道路改良について(道路整備課)

→資料のとおり

(議事録)

尾崎会長	道路整備課に何かご意見・ご質問はあるか
吉田(秀)委員	チラシが自宅にも届き、内容を読ませていただいたが、目的やこの工事でどう改善されるのかがわからなかった。 すでにチラシは配布済で新たに何かを載せるということとはできないと思うので、現場に目的等を記載した看板があるとよいと思う。その看板には、まちづくり会議からの要請があった旨も記載してもらえるとありがたい。
道路整備課	工事の内容について、受注業者が看板を作成する予定なので、そこに目的を掲載できないか、相談してみる。
秋山委員	現場前にマンションが建ったが、このマンション前の道路には高低差があるように思うが、今回の工事で変更はあるのか。
道路整備課	マンション前の道路については、今回の工事の範囲外のため、変更はかからない。高低差があるということだが、今回の工事については渋滞緩和に目的を絞って予算の範囲内に収めていることもあり、バリアフリーの観点を盛り込むことは難しい。
尾崎会長	こういった道路の問題点については、引き続きまちづくり会議の中で検討していければと思う。

第二部

◎前回会議の議事録の確認について

→資料のとおり

1. 議題

(1) 部会等からの報告について

くらし安心・安全部会（3/10）

→資料のとおり

（議事録）

山田部会長	先ほど説明のあった辻堂駅南口の道路工事について、3/25からと説明があったが、本日ステッカー貼付で現場に行ったら、すでに作業開始していたように思うので、補足しておく。
-------	---

交流部会（3/10）

→資料のとおり。

（議事録）

山田委員	3/19の歴史講演会について、今回オンライン開催をしなかったが、これは手間がかかるためか。新型コロナウイルスの状況にもよるかもしれないが、オンライン開催の需要は続くと思うので、今後は検討してほしい。
吉田（秀）部会長	チラシ配布後だったこともあり、今回はオンライン開催できなかった。当日の録画は行ったので、今後YouTubeへのアップロードをしていく。今後はオンライン開催も検討したい。
事務局	4月4日（月）14時からのフラッグ展示作業について、改選にはなるが当日対応できる委員の方はいらっしゃるか。 次の5名より立候補があった。 吉田（秀）部会長、吉田（紀）委員、片桐委員、鷹野委員、久保田委員

福祉部会（3/17）

→資料のとおり。

広報委員会（3/11）

→資料のとおり。

（議事録）

発言者	内容等
山田委員	まちづくり会議には関係ないが、ゴミニュースは以前、全戸配布だったが回覧になったのはなぜか。
事務局	環境事業センターへ確認し、回答する。
事務局	（環境事業センターへ確認後）コロナ対策に予算を割いた関係で広報費が減ってしまい、回覧になったとのこと。全戸配布を希望する声が多数あったことから、次年度は全戸配布へ戻す予定とのこと。

(2) 令和4年度会議日程について

→資料のとおり

(3) 今期の活動の振り返り

(議事録)

発言者	内容等
近藤委員	突然開設された福祉部会に自動的に割り振られる形で入ったが、社会福祉協議会では地域密着して活動するということがないので、参加できてよかった。ありがとうございました。
丸山委員	まちづくり会議委員の一員として、身近な声を聴きながら皆様と楽しむことができた。12、3年続いた辻堂担当を離れることになったが、後任が入るのでよろしくお願いします。
小泉委員	色々なイベントに参加させていただきながら、リノア訪問等、福祉全般に関わることができてよかった。後任はタカノという職員が対応するので、よろしくお願いします。
北野委員	初めは福祉部会をゼロから立ち上げることにとまどうこともあったが、今では障がいの理解について議論するまでになった。地域でこのような活動ができるのは素晴らしいと思う。次期もよろしくお願いします。
河住委員	辻堂に引っ越して数年で、地名もわからないくらいだったが、初めてまちづくり会議に参加した。団地の方との関わりがあり、まちづくり会議の活動をより知ってもらい、参加してもらう必要があると思った。ありがとうございました。
鷹野委員	色々な活動に参加することができてよかった。おかげさまで、各イベントで配布されていた辻堂プライドバッチが(バッグいっぱい付いた缶バッチをお披露目しながら)こんなに集まった。ありがとうございました。
松尾委員	日々暮らしているまちを客観的に見ることはなかったが、まちづくり会議を通じて自分たちのまちを客観的に見つめ、自分たちの手でよりよいまちにしていくことに実感がわいた。ありがとうございました。
秋山委員	辻堂まちづくり会議だよりに各部会長のイラストが掲載されているのは温かみがあり、良いと思った。また、辻堂寫真館のアンケートで木下恵介氏の続報を希望する声があり、次回の交流部会で取り上げてほしいと思う。次期は迷惑をかけないように頑張る。
吉田(秀)委員	コロナ禍の交流部会ということで、何ができるか考えながらの活動だったが、結果的に色々なイベントを実施できた。辻堂

	さんぽや朝市を通じて他部会とも連携できたこともいい経験となった。次期で3期目に入るので、よろしくお願いします。
森外委員	6年間活動させてもらい、地域活動体の在り方を考えさせられた。郷土愛深い人が集まり、交流部会そのものが交流の場になっていた。様々なイベントを経て、どんなことに人が集まるのか見えてきたように思う。コロナ禍でも話す機会があってよかった。ありがとうございました。
横川委員	鵜沼のまちづくりも含め、10年活動させてもらった。初めは何を発言していいかわからなかったが、関岡委員の「スケボーやろうよ」という言葉で自由な発言が認められていることを感じ、3期目は特に好き放題発言したが、それが少しでも役に立ったならよかったと思う。あと2年は辻堂にいますので、また会う機会があればよろしくお願いします。
片桐委員	まちづくり会議、交流部会、何をするものなのかわからない中で活動していたが、辻堂に住んでいても気付かないことも多いことがわかった。これからも辻堂のことを知りながら、力になっていけたらと思っている。ありがとうございました。
吉田（紀）委員	コロナ禍でブレーキをかけながらの活動だったが、関岡委員がアクセル全開だったこともあり、様々な活動ができた。活動の中で植えた花が開くのを見たり、交通問題への取り組み等から、皆で前に進めようとする力を感じた。オンラインのイベントも含め、これからも色々な活動をしていきたい。ありがとうございました。
福田委員	3代にわたって会長につかえ、色々勉強することができた。防災協議会から参加しているが、次期は小川会長が参加するため、委員ではなくなるが、防災協議会の副会長や、公民館評議員は継続していくので、これからも何かと顔を出すことも多いと思う。その時はよろしくお願いします。
望月委員	まちづくり会議の前身である市民集会の頃は、地域の意見を聞く傍聴者のような活動だったが、まちづくり会議になってより具体的な事例を元に自分たちでいかに良くするか討論するいい会議体になったと思う。今期で引退するがこれからも辻堂の健全な発展を願っている。ありがとうございました。
久保田委員	1年目はコロナ禍にまる被りで、半ばやらされている感があったが、2年目は自分たちで企画して活動している実感があり、充実していた。辻堂民なのに知らないことだらけだった。2期目もよろしくお願いします。
橋本委員	昨年途中から急遽委員となり、活動してきたが、防犯に注力していることもあって、あまり関心を持てなかった。老若男女

	がいる中で、横文字の活動も増えてきたので、今後は皆がわかるように企画することを意識したい。ありがとうございました。
山田委員	私はコロナ禍でほとんど活動できなかったがそんな中でもまちづくり会議としてはこれだけの活動ができたのは素晴らしいことだと思う。また、部会長としてまちづくり会議に参加することができよかった。ありがとうございました。
伊藤副会長	本日不在の関岡委員にメッセージがないか連絡したが、まだ返事がない。皆さんが次会うことがあったらメッセージはないのかと言ってあげてほしい。長きにわたってまちづくり会議委員として活動してきたが、まだまだやりたいことがあるので、初心を忘れずこれからも活動していきたい。ありがとうございました。
國弘副会長	次期は後任が入るので、よろしくお願いします。先日、タウンニュースの取材を受けながら、改めてまちづくり会議のすごさを認識した。市民集会、地域経営会議、くらしまちづくり会議を経て、辻堂プライドを持ち、人と人とが支えあって頑張る会議体になったと思う。長い間ありがとうございました。
尾崎会長	辻堂に住んで55年だが、一番濃密な時間を過ごせたように思う。当初は、瓦屋根の元々の住人文化と、新しい住居者の文化を融合することを目指して活動していたが、今はそれぞれの魅力が同居するまちなんだなという認識を抱き、活動するようになった。そういう意味でも、今日までまちづくり会議で活動してきた人も、これからもまちづくり会議で活動する人も、それぞれが同じ「まちづくり」のメンバーという気持ちです。今後ともまちづくり会議をよろしくお願いします。

(4) その他
(議事録)

発言者	内容等
北野委員	秋山委員の振り返りでお褒めいただいたので、改めてイラストレーターの紹介をさせていただく。この方は元々私が業務で担当する中で知り合い、当時は引きこもりだったが、今はこうして活動をしている。今回無事まちづくり会議だよりが発行されたことは、私のほうからお伝えする。

2. 今後の予定
→次第のとおり
(議事録)

発言者	内容等
尾崎会長	参加できる時間が限られる人たちの参加も考慮し、開催日時については夕方や土日も視野に、次年度の会議の中で検討していけたらよいと考えている。
松尾委員	次期の部会の振り分けはどうなるのか。
尾崎会長	第1回で希望を取り、振り分ける予定。

3. その他
(議事録)

発言者	内容等
森センター長	今年度をもって異動となる職員をお伝えする。 笹本→道路河川総務課へ異動。後任は山出。 笹本より皆様へ一言。
笹本上級主査	道路河川総務課ということで、本庁の隣にある分庁舎4階へ行くことになる。ありがとうございました。
森センター長	笹本以外の異動職員からも一言もらう予定だったが、窓口対応中ということで、省略させてもらう。 杉山補佐→市民税課へ異動。後任は相澤補佐。 高塚上級主査→遠藤市民センターへ異動。後任は笹木。 小島上級主査→今年度で退職。後任は桐山。 そして、私も選挙管理委員会事務局へ異動となる。 一年間という短い間でしたが、皆様に大変お世話になりました。ありがとうございました。今後とも事務局一同皆様の活動を支えていきますので、よろしくお願いいたします。また、今年は参議院選挙、統一地方選挙、市長選挙がありますので、選挙の時には私のことを思い出していただけたらと思いますし、皆様投票よろしくお願いいたします。
事務局	次期まちづくり会議第1回の開催予定はお伝えしましたが、この日は市長をはじめ理事者が出席し、委嘱式及び意見交換会を予定しておりますので、皆様スケジュールの調整をお願いします。

以 上

令和3年度第11回辻堂まちづくり会議報告

(開催日時) 2021年(令和3年)2月24日(木) 13:30~14:40

(開催場所) 辻堂市民センター ホール

(出席者) 24名

(欠席者) 3名

(傍聴者) 1名

(議題等) 別紙次第のとおり

◎前回会議の議事録の確認について

→資料のとおり

1. 議題

(1) 辻堂地区全体集会について

→資料のとおり

(2) 部会等からの報告について

くらし安心・安全部会(2/10)

→資料のとおり

(議事録)

山田部会長	防災講演会の参加者は最終的に何人くらいだったか。
事務局	オンラインの申し込みが90人、会場申し込みが60人だったので、おおむね150人ほどが参加した。アンケート回収中のため、正式な結果報告は後日行う。
福田委員	防災講演会について、申し込み60人に対して当日の空席が20席ほどあった。当日キャンセルだった可能性もあるが、公民館の予約だとキャンセル待ちを受け付けたりして対策をしている。このような対応が必要ではないか。 Bリーガーについて、くらし安心・安全部会に参加していたが、2/28に開催するか判断をするという話になっていたか記憶になかった。判断のタイミングが遅すぎて、学校関係者やプロバスケットボールチームに失礼にならないか。また、資料にある当日来る人は連絡が必要というが、これは誰に対してのアナウンスか。
事務局	防災講演会について、会場参加が定員に達したあと、会場参加を希望する人から連絡があった際には、オンラインでの参加を促すといった対応は行っていた。しかし、今回はキャンセル待ちを受け付けるといった対策は行わなかったため、今後については各企画に関して部会の皆様と話し合っ、キャンセル待

	ち等の対応をするかも含めて内容を決めていきたい。 B リーガーについては、部会中にお話させていただいたかと思う。学校関係者、プロバスケットチーム双方と協議し、せっかくの機会なので、開催できる可能性にギリギリまでかけたいということで、2/28 になった。この点は学校関係者、プロバスケットチーム双方にご了承いただいている。また、連絡が必要という記載については、当日参加する委員の皆様も人数把握のため事前に連絡が欲しいということで、委員の皆様へのアナウンスだった。
山田部会長	B リーガーについて、中止の判断が 2/28 では遅すぎるのではないかという意見は部会内でもあったが、最終的な決定権は藤沢市側にあるとし、一任したと記憶している。
事務局	なお、先ほど防災講演会の会場参加 60 人とお伝えしたが、これは一般参加申し込み 60 人に空席があっても、当日は委員の皆様も参加されていたので、ホールで 60 人は参加していたという意味であることを補足させていただく。

交流部会（2/17）

→資料のとおり。

（議事録）

吉田（秀）部会長	3/19 の歴史講演会について、当日の協力者をまちづくり会議委員の中から募りたい。受付、駐輪場、マイクアンカーが各 2 名ずつ必要だが、当日ご協力いただける方はいるか。
	立候補にて次のとおり決まった。 受付 國弘副会長 河住委員 駐輪場 久保田委員 福田委員 マイクアンカー 松尾委員 高橋委員
伊藤委員	歴史講演会は当日仕事で参加できないが、どんな話だったのか、冊子やホームページ等で読めたらと思っているが可能か。
事務局	当日の資料はホームページにアップロードする。 また、当日の講演を YouTube にアップロードするかは検討する。
山田委員	歴史講演会について、オンラインでやらない理由はあるか。
吉田（秀）部会長	大石さんはご高齢なこともあり、配信するとなると当日講演内容以外のやり取りが多くなって時間が圧迫されてしまうことが予想されるため、今回は見送っていた。
山田委員	防災講演会で 90 人も申し込みがあったことを考えると、歴史講演会もオンラインにすることで多くの方の参加が望めるのではないか。

事務局	オンライン開催については周知していないこともあるので、今回は YouTube へのアップロード等の方法を検討したい。
山田委員	また、大石さんの辻堂かるたに興味があるが、あれは今どうなっているのか。
吉田（秀）部長	辻堂かるたは大石さんが自主出版したもので、3、4セットを各小学校へ寄付し、在庫を 100 個ほど手元に残しているが、販売等は予定していないと聞いている。
山田委員	大石さんの作品展示に、一緒にあるとよいと思うがどうか。
吉田（秀）部長	大石さんにお借りできれば展示したい。

福祉部会（12/9）

→資料のとおり。鷹野委員より 1 点補足あり。

- ・白浜養護学校の即売会・展示会について

コロナの影響で 2 月 3 月は中止となったので、あらかじめご了承ください。

（議事録）

事務局	白浜養護学校の即売会・展示会に関して補足だが、中止になったのは即売会で、展示会は交流スペースで実施する。
吉田（紀）委員	絵ほん語り公演について。宮沢賢治にしてはダークな話だったので、次はクスッと笑える話も聞きたいと思った。 また、公演を聞いて自分の子どもの頃を思い出した。私の家は農家で、5～10キロの子ブタを家に迎え入れ、育てていた。スイカの皮が特に好きだったことを覚えている。1 年もするとすぐに大きくなって出荷されていったのだが、公演では直前はエサをやらないという話だったが、我が家では少しでも大きくなったと見せるために、朝体重を量る仕組みだったことから朝までエサを食べさせたりしていた。私は感受性が鈍かったので、今回の話のように、いわゆるドナドナの世界ということは感じていなかったが、そんなことを思い出した。 オンラインではなく会場で参加したのだが、皆さんと一緒に生で公演を聞くというのは本当にいいものだな、血が通っているなという思いがした。

広報委員会（2/1）

→資料のとおり。

伊藤委員長より 1 点補足あり

- ・辻堂まちづくり会議だよりについて

全体集会の写真については今掲載しているものとは別に、追加を予定している。

そのほかの変更点・ご意見があれば、2/28 までに事務局へ連絡してほしい。

(3) 公募委員（再任）の推薦について

→資料のとおり

(議事録)

発言者	内容等
事務局	今期取り組んでいただいた公募委員のうち、再任の意思を示していただいている4名について、辻堂まちづくり会議として推薦するという事で、よろしい方は拍手をお願いしたい。
	拍手多数
事務局	賛成多数ということで、推薦させていただく。 なお、公募委員については、3/3の辻堂地区郷土づくり具維新会議委員選考委員会で選考する。

(4) 次年度に向けた意見交換について

(議事録)

発言者	内容等
尾崎会長	次年度に向けた意見交換ということで、何かあるか。
秋山委員	辻堂駅前の自転車通行について、今後看板の設置といったことは可能なのか。
事務局	市担当者から道路整備の中で、看板を入れる方向で話を進めていると聞いている。
吉田（紀）委員	辻堂まちづくり会議公募委員について、今現在応募はあったのか。
事務局	再任の4名を含めて、全部で10名の方からご応募いただいたが、うち1名は辻堂地区にお住まいではなかったので、9名の方が選考の対象になるかと思う。
吉田（紀）委員	働き方改革もあり、まだ自分の周りにも仕事を続けている人がいたりするが、ぜひ周囲に声をかけるなどして、今後の運営に支障がないようにしていきたい。
松尾委員	辻堂地区全体集会について、次回はテーマをもっと具体的なもので開催してみてもどうかと思う。 辻堂のいいところなどは語りつくした感があるので、子どもの居場所づくり等のテーマがよいかと思う。
尾崎会長	本日次年度に向けた意見交換ということで、いくつかご意見をお伺いしたが、前回の全体会議にて吉田（秀）委員から、自身の所属していない部会の活動に関しての意見交換の場が欲しいとも話があったので、今回に引き続き、次回も皆さんへご意見を伺う。全体へ共有したいこと等あればぜひ、次回お願いしたい。

2. その他

(議事録)

発言者	内容等
尾崎会長	3月の予定は次第のとおりとなっているので、担当委員の皆様よろしくお願いします。その他について、予定しているものはないが、何かあるか。
	特になし

3. 今後の予定

→次第のとおり。

(議事録)

発言者	内容等
尾崎会長	以上で予定していた内容はすべて終了したが、最後に何かあるか。
山田委員	辻堂地区全体集会と防災講演会、どちらもオンラインで参加させてもらったのだが、辻堂地区全体集会のほうは音が切れてしまうトラブルがあった。防災講演会は何もなかったのだが、何か違いがあるのか。
事務局	開催日が防災講演会よりも先だった辻堂地区全体集会では、機材に不慣れだったこともありトラブルが起こってしまった。防災講演会でトラブルがなかったのは、辻堂地区全体集会での反省を活かしたため。今後のオンラインイベントについても機材トラブルがないよう取り組んでいく。
松本委員	体調のことがあり、活動は今限りとなる。次回出られないかもしれないので、この場でごあいさつをさせていただく。 皆様お世話になりました。様々な活動の中で、特にこの市民センターを建設するときに、設計の段階から、それこそ土地探しから携わらせていただいたことが印象に残っている。 今年度まで頑張ってきたけれど、今後も機会があればお話しさせていただいたりと思うので、よろしくお願いします。

以 上

令和3年度 第11回 くらし安心・安全部会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)3月10日(木) 13:30~14:50

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 山田委員、高橋委員、橋本委員、福田委員、伊藤委員、望月委員、久保田委員
事務局: 中丸、新倉、二宮

(議題等) 1 報告等

(1) 辻堂地区交通問題事業

・辻堂駅南口の道路改良について(道路整備課)

(2) 防災講演会の実施結果について

2 今後の取組について

(1) 辻堂地区交通問題事業

・辻堂駅前商店街東側の進入禁止における自転車問題について

(2) 来年度事業計画について

(3) その他

3 その他

〈議題〉

1 報告等

(1) 辻堂地区交通問題事業

・辻堂駅南口の道路改良について(道路整備課)

○延期になっていた業者が決定し、工事の進捗状況について道路整備課工事担当者より別紙資料のとおり報告をいただいた。また、回覧チラシを3/25号に周知し、3/24(木)全体会でも報告をいただく。

【意見等】

・落札金額を聞きたい。

→税込み3,069万円である。

・作業時間が、午前9時からの開始は特に夏場は遅いのではないかと。何か決まりがあるのか。

→警察から許可が下りるのは9時と決められている。また、朝の時間帯は通勤通学等で自転車が多く通るので一般的には9時開始としている。

・工事箇所は通学路にもなっているので、子どもたちの安全には特に気を付けてほしい。

→工事期間中(作業時間内)はガードマンを配置し、安全には十分注意する。

・工事の割合はほとんど昼間の時間帯なのか。

→地下道にコンクリートを打つなど昼間にできない部分は夜間が中心となる。

(2) 防災講演会の実施結果について

○事務局より、別紙報告書に沿って説明した。

2 今後の取組について

(1) 辻堂地区交通問題事業

- ・辻堂駅前商店街東側の進入禁止における自転車問題について

○事務局が警察にキャンペーン実施の協力を依頼したところ、まん延防止等重点措置期間中であることや、コロナ感染者が減少傾向にないことから、現時点で協力は難しいとの回答であった。

【意見等】

- ・チラシ回覧以降の状況はどのような感じなのか。
→チラシを見て「そうだったんだ」と改めて知った方もいるようなので、ゼロではない。
- ・毎日通行しているが知らなかったという方がいた。チラシの効果はあるように感じた。
- ・大掛かりなキャンペーンを実施しなくても、防犯灯にステッカーを貼るなどもう少し進めたい。
- ・規模は小さくてもキャンペーンは今やるべきに思う。時間が経てば経つほどチラシの効果も薄れてしまう気がする。
- ・ステッカーの貼付作業後、少し立って声掛けをしてはどうか。
- ・キャンペーンを実施するのであれば、時間ややり方を検討し計画的に進めるべき。

【決定事項】

○3/24（木）10時から駅前商店街入口の防犯灯にステッカーの貼付作業を行う。

→当日参加者：山田委員、福田委員、伊藤委員、望月委員、久保田委員

(2) 来年度の事業計画について

○来年度の事業計画について再度検討を行った。

【意見等】

- ・子どもの見守り事業で通学路にグリーンベルトと一緒に発光鋸も設置している。
- ・防災講演会は、参加人数の詳細（会場、オンライン数）も追記する。

(3) その他

○特になし。

3 その他

- ・防災講演会について、マスコミ各社が来ていなかったがアナウンスはしなかったのか。

→今回はしなかった。

- ・辻堂市民センターオープン記念事業「目指せ Bリーグ！」について、中止になった経緯を聞きたい。
また、最終的な判断はどこが出したのか。

→教育委員会からの部活動指導要領等に基づき、実施不可であると藤沢市教育委員会が判断した。

以 上

令和3年度 第12回 辻堂交流部会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)3月10日(木) 10:00～11:30

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 委員: 吉田紀委員、片桐委員、森外委員、秋山委員、吉田紀委員

事務局: 中丸、若山

- (議題等)
- 1 大石さんの歴史特別講演について
 - 2 FUJISAN×TSUJIDO～風景コラボレーション～について
 - 3 辻堂写真館について
 - 4 辻堂さんぽについて
 - 5 その他

〈議題〉

1. 大石さんの歴史特別講演について

→現在の申込状況の報告と当日役割分担の確認を行った。

2. FUJISAN×TSUJIDO～風景コラボレーション～について

→写真の応募状況の報告と今後のスケジュールの確認を行った。

4月4日(月) 14時からフラッグの展示作業を行うため、全体会議で他の部会の委員にも協力依頼を行うこととなった。

3. 辻堂写真館について

→次回は、「新日本紀行 辻堂」と題し、昭和30年代の風景や生活の様子、辻堂小の写真を4月8日(金)から展示する。準備は、4月7日(木)9時から実施する。

【意見等】

- ・富久鮎の展示は、今回のテーマと少しずれるので、次回展示に回すこととする。
- ・次々回は、「明るい農村 辻堂」と題し、昭和30年～40年代辻堂地区内を地図で展示する。

4. 辻堂さんぽについて

→前回部会に引き続き、来年度の本事業の検討を行った。

来年度の事業内容は、新たなメンバーで再度検討することとなった。

【意見等】

- ・本来は、高齢者と子どもの交流の場としたい。ウォーキングとさんぽのすみわけが必要。
- ・さんぽは辻堂を知るキッカケになる。
- ・健康増進とともに、テーマ・目的別(公園・防災・居場所・植物)に実施しても辻堂の再発見となるのではないかな。
- ・グリーン回廊は比較的安全な道であるため、それ以外でコースを考えると、安全性も考える必要がある。

- ・初めて参加する人にとっては、商品で参加を促すのは大切ではないか。
- ・まだ、グリーン回廊を知らないという人も多いのは事実である。

5. その他

- ・湘南工科大学の中尾教授から依頼があった、オペラサーカスの周知を行った。

以 上

令和3年度辻堂地区防災講演会アンケート結果

開催日時:2022年2月19日(土) 14時～15時30分

会 場:辻堂市民センター ホール

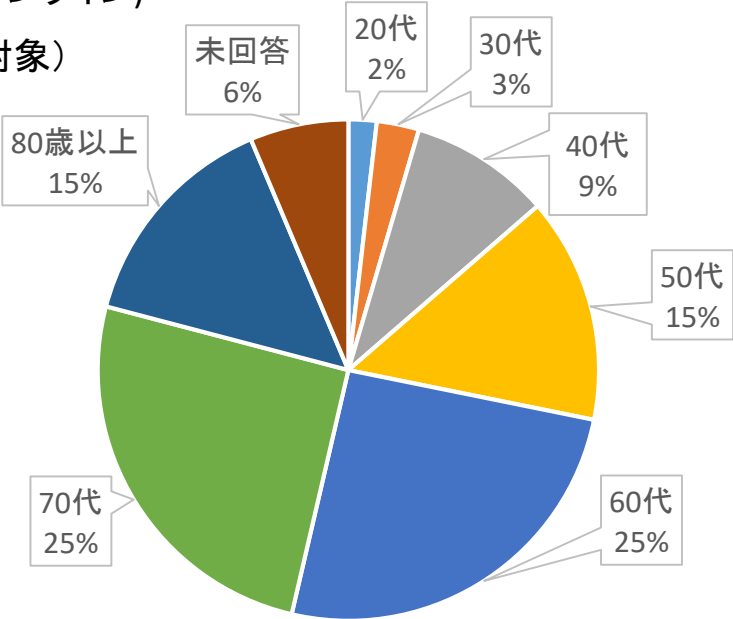
オンライン(ZOOMウェビナー)

参 加 者:161人

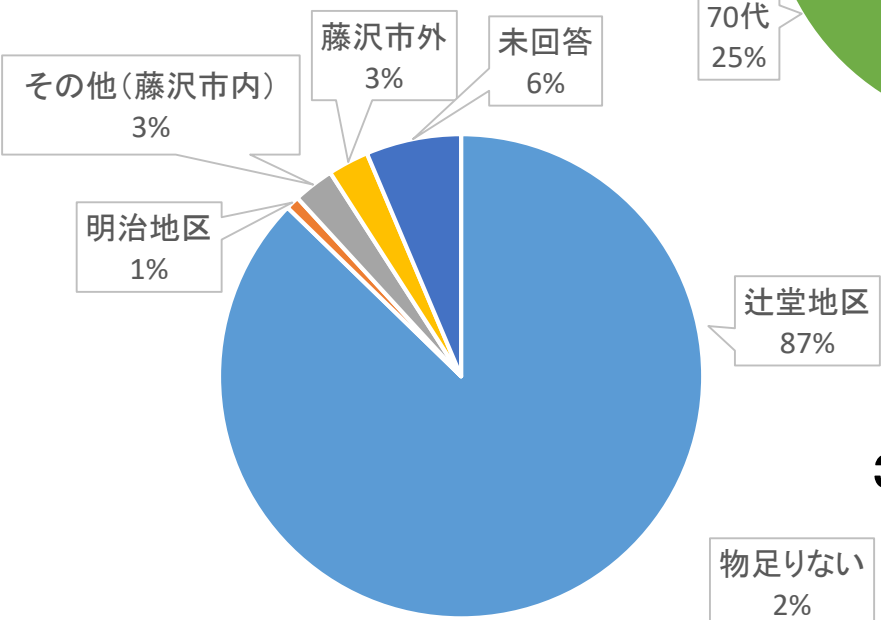
アンケート回答数:109人分(会場及びオンライン)

回収率:77%(一般参加者140人のみ対象)

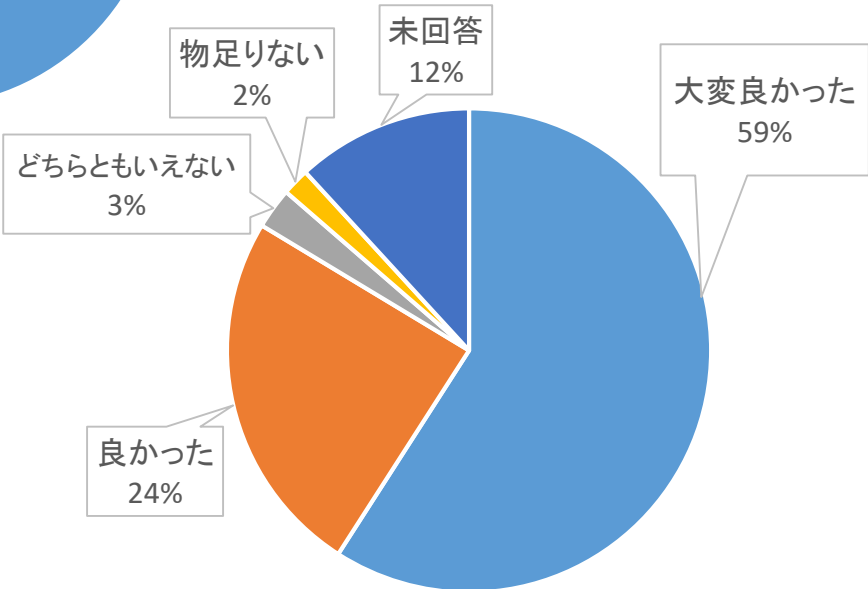
1. 年代



2. 地区



3. 講演内容

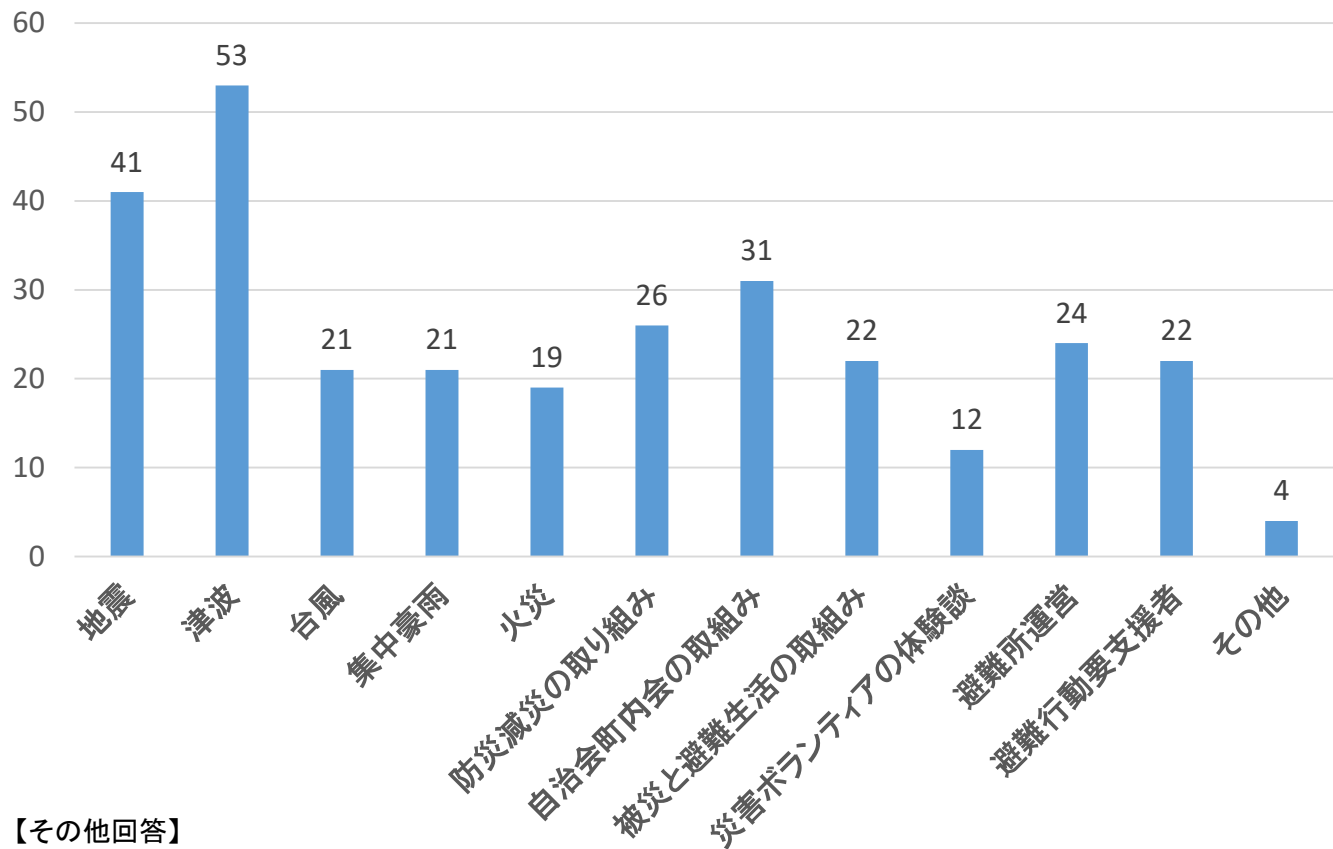


4. 印象に残ったこと、参考になったこと

- ・ 災害について事前に話し合う事の大切さ
- ・ 主人がサーフィンをするので、海に津波タワーがあると安心
- ・ 豊富なデータによるお話で、過剰なおそれを抱く必要がないこともわかりました
- ・ 必要な備えをおこなうようにしたいと思いました。
- ・ 辻堂ご在住ならではの地域の災害リスク(糸魚川大火災との比較)など示していただき、大変参考になりました。
- ・ 災害時における障がい者死亡率(福祉と防災)の話も、考えさせられるものがありました
- ・ 先生がテラスモールへ避難すると仰っていたこと
- ・ よくいわれる地震の起きる確率についての理解が深まったと思います。
- ・ 遠い場所の地震でも影響がある可能性があることがわかりました。また、日頃から地震が起きた時どう行動するのか決めておくこと、日頃からの地域とのつながりをもつことが大切だと思いました。
- ・ ピンポイントで辻堂地区について教えていただき、どう対策をするかははっきりしました。また火災についての対策を考えていなかったので今後の課題として家族で話し合いたいと思います。
- ・ 想定される大地震の詳細を聞くことができ、大変参考になりました。
- ・ 辻堂に限定してお話することが難しい、という前置きをされてたとは思いますが、せっかくの地方自治体主催の会なので、より具体的なお話(実際に想定される地震が起きたらどのように避難するか、火災と津波が同時に起きることが予想された場合にどのように避難するか、公共交通機関の不通がどの程度想定されるか、など)も聞きたかったです。
- ・ 先生と同じ三丁目に住んでいます。テラスモールに逃げようと思いました。
- ・ いざというときの心構えを持続きたい
- ・ 過去の事例
- ・ 一時的避難所としてのテラスモールの専門的知見による裏付けが得られました。また常に大地震大津波大風水害等にいつ襲われるかもしれないという心づもりを怠らないよう気を固めました。
- ・ 火災発生時の運命共同体の範囲。
- ・ この地域は地震、津波もさることながら、震災後の火災のリスクに対しても意識をむけなければならないのだと感じました
- ・ 災害時に障害者や要支援者の死亡率が高いこと。避難行動要支援者の個別避難計画の重要なポイント(防災リテラシータイムライン地域との調整避難訓練の流れ)
- ・ 湘南が北米プレート、フィリピンプレート、太平洋プレートの三層構造の上に乗っかっていること。津波の時の避難場所がテラスモールということで考えが一致したこと
- ・ 公助、共助、自助から皆で避難(実際に可能なのか?)
- ・ 辻堂の位置関係
- ・ 関東大震災のことや住んでいる地面の下にあるプレートのお話が興味深かったです。
- ・ 一口に地震と言っても起こるシステムが色々あり、どの地震でどのような被害があるのかが分かりました。地震の原因、しくみ、周期などの基本的な知識は勉強になりました。また地震や津波の被害の歴史について地域にフォーカスしてご教示いただく機会はなかなかないので、参加して良かったです。これを市のHPなども見ようというきっかけになりました。先生のお話がユーモアも交えながらで大変わかりやすく、家族で在宅で自由にリアクションしながら配信を見ることができました。あとは高台避難の質問とそのご回答で地元の問題点を知ることができて良かったです。
- ・ 過去に辻堂を襲った津波の記録に残る最大のものが関東地震のものだったということ
- ・ 津波が来たら逃げる。
- ・ 防災の意識を日常から持たなければならに地域に居住しているということ
- ・ 津波の構造が良く分かりました。津波が来た時実際にどう動くかの具体案が判り難かったです。
- ・ 助け合いのせいしん、eかなマップ、日本にあるさまざまなプレート
- ・ 辻堂地区に特化した地震についての地裁化が学べたので、とてもリアルで、勉強になった。
- ・ 湘南地域のプレートが3層構造になっていることや断層の近くでは地震が頻発していることが大変参考になった。また各々の町内会で地域に合った防災計画が必要だと感じた。
- ・ 地震のメカニズムが興味深かったです。

- その人によって、すべき事は違うので、情報をきちんと得て、理解した上で、自分はどうするべきかを家族でしっかり話し合う事が大切だと思いました。
- インクルーシブ防災について。
- ①地震のメカニズムが大分理解できたこと。②以前あれだけ騒いだ東海地震はどうなったかと思っていましたら、南海トラフ地震に含まれたこと。③近いので一番怖いと思ってた相模トラフの地震は取り敢えずさしせまっていなかったこと。④でも結論はいつどこで想定外の地震が起きるかはわからないということ。
- 素晴らしい防災講演会に感謝します。加藤照之先生の講演は大変勉強になりました。
- ●地震、津波の仕組みについて、概要が分かった。ニュースではなく、専門家の話を一定の時間聞けてのは有難い。●福祉と防災の連携、高齢化の中ますます重要。●同じ辻堂に住む貴重な専門家人材に貢献していただくよう希望。●延焼運命共同体との指摘、辻堂南部地区は、区画整理なく住宅密集が進んだ地区。実例の糸魚川のように危険があるとのこと。住みよい街とのキャッチに感わされず、リスクも自治体は公開する責任がある。
- 最も身近な地域に住む人々の福祉向上のため、お願いいたします。●コロナのなか、開催された関係者に感謝です。リモートで助かりました。
- データが新しかったので、身近に感じて良かった。
- 辻堂の辺りにどのようなことが起こる可能性があるのか、分かりやすかった。
- 火災への備えも必要
- 全ての人が避難できるように対応すること。
- 避難計画を前もって準備して、焦らずに適切な行動をすることが重要であること。
- 自分でやらなければならない事ははっきりした。
- 地震に関する知識を再認識できたこと。
- 最初の司会者の挨拶、後援者の経歴紹介、自治会会長(?)の挨拶は不要
- 地震は避けようが無く、自分で何とかするしかないということ。
- 防災ビルに指定されている建物の分布に偏りがあって、我が家の近くには防災ビルがほとんどないことに気がつきました。辻堂地区は北米プレートの上に載っていて、その下に下にフィリピン海プレート、さらに下に太平洋プレートが重なっているという複雑な構造の上で生活していることが分かり、面白いけど怖いと思いました。
- 関東大震災の揺れや被害は神奈川県が一番大きかったこと。また、私が住んでいるところは海軍の演習地で人が住んでいなかったため人的被害がなかったこと。
- 大きな地震はプレートとプレートのぶつかる海溝やトラフ部分で起こるものだと思っていました。今日の講演でそうでないことがよく分かりました。
- 講演は大変良かったが、進行者(男性)は良くなかった。
- プレートが3枚重なっていたとは知らなかった。
- 我が家は海岸に近いので、津波の際はとにかく辻堂駅方面に逃げる事を徹底します。
- 地震のシステムやどう対応すべきかの一般論も何度も聞いてます。でもそれ以上具体的に実行に移したり、移せる用意をしている人は少ないのではないのでしょうか？
- 小さな子どものいる人、高齢の病弱な人、障害のある人それぞれ事情の違いでも地震時の対応は変わるので、そのような観点をも入れた具体的な動きかたを例示したり、練習させたりしてみることが大事ななと感じました。
- プレートの話。警報の発報の仕方。
- 湘南地方の過去の地震津波災害の詳細が今後の対応を考える上で参考になりました。また、質疑で講師の方自身がどこに避難するのか問われ、その答えがふだん考えている場所と全く同じだったことに大変納得できました(講師の方よりさらに辻堂駅近くに住んでいます)。
- 辻堂地区の置かれている状況が把握できた
- 3つの地震の違いが理解できた
- 講師が辻堂にお住まいで、現地の状況をよくご存じでしたので、話がよくわかりました。
- 災害になる全体像からの説明で大変よかった。願わくば、記憶が確かでないので資料のコピーが手に入る方法があると良いのですが.....。
- 震源の深さにより、フィリピン海プレート、太平洋プレートで起こったのかある程度分かること。
- 津波による被害想定、過去の被害状況が確認できた。

5. 今後の防災講演会で、どのような話を聞きたいですか。 ※複数回答可



【その他回答】

- ・ 小中学生を交えて防災・減災の話
- ・ 火山活動
- ・ 富士山噴火

6. その他自由記載

- ・ 辻堂南口に住んでいるので、やはり逃げる際テラスモールへと考えおりました。しかし線路を越えるのが歩道橋となっていて（地下道は水没の恐れあり）、歩道橋に人が殺到したときどうなるのか常々不安を感じております。また台風などでも手すり落ちたり強度もあやしいのですが、藤沢市としてその辺りの対策はどうなっておりますか？
- ・ やはり南北の行き来をスムーズにできるようもう少し整理を行ってほしいと思います。
- ・ 国道134号線が海拔6メートル位あると、耳にしております。仮に6メートルの津波が発生した場合、これが、防波堤として、機能をするのか。引地側から溢れ出るのか。関連を知りたいです。
- ・ 家族と話すときの材料としたいので資料を頂けるとありがたいです。
- ・ 今回オンラインで参加したが、快適だった。次回からもオンラインで参加したいです。
- ・ 本日は貴重な講演会を開催していただき関係各所にあらためて感謝申し上げます。また是非開催願います。
- ・ このような取り組みを行われているのを知らず、今回初めて参加させていただきました
- ・ この地域に特化した情報を、とても為になりましたし、この地域に住われている専門家の方が話されるのには視点が専門的かつ生活視点でもありとてもわかりやすくよかったです
- ・ 普段は防災等興味を持たない家族も、オンラインで自分の地域について話されているのにとっても興味をもってきていました
- ・ 防災訓練にまずは参加しようと思います
- ・ マンションの自主防災組織で活動していますが、居住者の防災意識（防災リテラシー）が希薄、関心のない方が多く、どうしたらリスクを理解し「備えの自覚」までもっていくか悩みです。また、避難行動要支援者に対する支援計画も、何かというと個人情報うんぬんをいう人達がいて、中々助け合ってやろうという状況まで進んでいません。難しさを感じています
- ・ 先ほど書き損じてしまったのですが、ハイブリッドの講演会でもありますので、電話やメールの申込みのみではなく、QRコードやネットのフォームでの申込みできると、より便利かと思いました。

- ・辻堂は東北3県の高齢者被災分析の宮城県に類似する住環境にあると思われ、住民の今後の年齢構成の変化(10年後、20年後)を考えると、要介護者の数が支援者の数を上回ることにになり避難システムを構造変革しないと立ち行かなくなるのではないかと。(体が動く今は何とかなくても……)
- ・難しい内容を分かりやすくお話いただき、あっという間の一時間でした。次回は、違う視点からのお話をお聞きたいです。
- ・運営の方々もありがとうございました。オンライン参加でしたが
- ・先日のトンガの噴火に伴う津波警報時は真夜中、眠い、寒かった。昼間の津波避難訓練は生かされないと感じる。
- ・オンライン参加でしたが拍手時にミュートにするなど細かい配慮をしていただいてストレスなく参加できました。ありがとうございました。
- ・貴重なお話が聞けて良かったです。何より、先生が辻堂地区にお住まいなので、とても説得力がありました。
- ・先ず、知ることだな、と思いました。無駄に恐れることもないけれど、やはりきちんと対策しておかなければ。それでこそ、すみやすいまち＝辻堂と言えると思います。一步一步、理想の防災対策に近づけば良いのかな、とも思います。
- ・難しい内容なのだと思いますが、説明がとても分かりやすく、子供にも聞かせてやりたいと思いました。動画の配信をして頂けると有難いです。
- ・台風の様に精度の高い予測が早く出来る様になることを願うだけです。
- ・津波で危ない現在の鵜南小学校の建て替え地を、八部公園に変更しましょう。
- ・オンラインでも開催して下さいととても良かったです。コロナ禍だし、足腰が弱く、耳の聞こえも悪くなった高齢者にはイヤホンで良く聞き取れてとても助かりました。
- ・津波の防災マップによれば、南海トラフ地震が起きても、浜見山以北には津波は届かない、と理解されるのですが、それで良いのか先生の見解を聞きたかった。
- ・災害対策(個人の)の要点、①準備しておくもの ②警報の種類 ③市役所、自治会、xxx,
- ・xxx, xxxの連携体制 ④③に基づきそれぞれが何をしてくれるのか ⑤個々人がやらなければならないこと ―――> など具体的なことを市役所？などから説明がほしい。
- ・このような講演会を随時企画していただきたい。地域ぐるみの活動の重要性の気づきは大切だと思います。
- ・画面で見られた資料がコピー出来て、手元資料にしたい。
- ・地震研究に関する内容でしたので、会場からの質問があったように「防災」や「災害対策」に関する講演内容の方が求められると考えます。
- ・もっと具体的な話(地域ごとの避難等)が聞きたかった
- ・辻堂と書いてありましたが、密着感が無く、グローバルなお話で、テレビと同じかとガッカリしました。
- ・半面、先生の中では、皆で助け合おうの方が主題だったのかと気づき、それも必要な事であると認識しました。
- ・質問で避難場所として海岸に向かって避難したくない、場所を見直すべきというものがあったが、当自治会地域からの発言らしく驚いている。避難施設、津波一時避難ビル、災害時一時避難場所の位置づけについては総会や回覧で周知を図ってきたつもりであるが、転入者も多く周知の難しさを感じている次第。ただ、この質問への会議場での回答については講師では難しいと思われ、市の職員なり主催者側がこの三つについて、辻堂地区で取り組んできたことなのでそれぞれの違い、位置づけ等補足するなりしてしっかり説明してほしい。
- ・辻堂地区も住人の入れ替わりが多くなり、町内会の活動、近所づきあいが減ってきたように感じています。
- ・今日のような講演はどこかでアーカイブされるのでしょうか？ 家族にも見せたいです。
- ・チャットからの質問に対して、進行者が加藤先生に故意に変更して、正確に伝えておらず、残念であった。
- ・想定リスクと各避難所のキャパシティについて知りたい。
- ・よく言われるように自分は大丈夫だろうと思ってしまうので、被災された方の経験談を聞いたり冊子に図など入れてわかりやすくまとめられてWEBで公表提供してもらえると新しい気づきもあったりして、役立つと思います。
- ・個人的には、藤沢市近郊を含む狭い地域の具体的な震災知識を得たくオンライン参加を致しました。他の媒体で得られる知識が多かった印象でした。
- ・この辺りの地区に限定した住民向けの情報を得られる機会があると有り難いと思います。
- ・概論から入らずに、質疑応答で議論されたような内容を厚くして欲しかったです。
- ・災害に関しては、自分で出来ることを繰り返し確認し続けることが大切と思いました。
- ・今回初めてオンライン講演会参加したが、気楽に参加でき、今後いろいろな分野でこのような取り組みをお願いしたい。

「辻堂の歴史を後世に」 アンケート結果

開催日 2022年(令和4年)3月19日(土)10時～12時

会場 辻堂市民センター 3階 ホール

参加者数 64 人 (講師、委員、事務局を除く)

アンケート回収枚数 52 枚 回収率(%) 81.3%

■ 年代をお聞かせください。

20歳代未満	2	3.8%
20歳代	0	0.0%
30歳代	2	3.8%
40歳代	2	3.8%
50歳代	3	5.8%
60歳代	11	21.2%
70歳代	16	30.8%
80歳代	14	26.9%
90歳代以上	2	3.8%
未回答	0	0.0%

一般	64
まちづくり	10
講師	1
事務局	3
その他 (鈴木市長・秘書課職員 タウンニュース・神奈川新聞)	4
合計	82

■ お住まいをお聞かせください。

辻堂	21	40.4%
辻堂元町	8	15.4%
辻堂太平台	5	9.6%
辻堂東海岸	11	21.2%
辻堂西海岸	6	11.5%
辻堂新町	0	0.0%
上記以外の藤沢市内	0	0.0%
藤沢市外	1	1.9%
未回答	0	0.0%

■ 辻堂地区にお住まいになって何年になりますか。

5年未満	4	7.7%
5～9年	3	5.8%
10～19年	8	15.4%
20年以上	35	67.3%
未回答	2	3.8%

■ 今講演の内容はいかがでしたか。

大変良かった	19	36.5%
良かった	15	28.8%
どちらともいえない	4	7.7%
物足りない	2	3.8%
未回答	12	23.1%

■ 今日の講師(大石静雄氏)の話のなかで、興味深かったところはどこですか。

- ・大戦をはさんでも歴史への思いを忘れずに研究されたこと。和歌の造話の深さ。
- ・西行法師が詠まれた背景が目につくようでありがたいです。
- ・辻堂という地名の由来。
- ・頼朝の落馬事件。辻堂の今昔について。
- ・すべて興味深かった。
- ・八松ヶ原: 広域地名、八的ヶ原: 辻堂限定地名→小学校名は変更したほうがよいかもしれない。
- ・源頼朝落馬の真相。
- ・益々のご健勝を心よりお祈り申し上げます。
- ・辻堂の名前のいわれについて

「辻堂の歴史を後世に」 アンケート結果

- ・かつて辻堂が八松ヶ原と呼ばれていたこと。頼朝の落馬。辻堂の発祥について。
- ・八松ヶ原。
- ・辻御堂が辻堂になったこと。西行さんの話。
- ・源頼朝落馬への興味と調査の過程の話。辻堂の辻とはどこかの論。
- ・辻堂の事件(出来事)は興味深かった。
- ・西行法師、源頼朝と辻堂との関係。
- ・源頼朝落馬の件、大河ドラマがあり、大変タイムリーであると思う。
- ・ご高齢に関らず、直立不動の姿勢なので、相変わらずの健康体に感心しました。辻堂東海岸の生き辞典として頑張ってください。
- ・辻堂に住んで30年余り、東京に住んでいた頃は、茅ヶ崎と藤沢の間に辻堂駅があるのを知らない人が多く、今回お話を聞いて昔からの歴史の中で由緒ある場所だったんだと改めて感動しました。日の出町の連続火災の件は、大石さん生き証人なんですね。貴重なお話たくさんありがとうございました。
- ・98歳で講演できることがすごい。興味深かったのは辻御堂から辻堂になった話。辻堂駅構内爆発。
- ・源頼朝落馬、辻堂の地名。
- ・源頼朝落馬の真相。
- ・辻御堂、八松ヶ原、昔の駅前商店街の様子。
- ・日の出町から仲町に変更した話。火薬の爆発の話。
- ・辻堂はテラスモールが出来てから。町自体が大きく変わり始めています。住みやすいという印象が強くなっています。案外歴史は知らない方が多いのでは。
- ・大石氏98歳の記憶がまず敬服。源頼朝落馬の真相を述べたご本人より直接伺い納得した。
- ・詳しく説明していただいて良かったです。
- ・西行法師と辻堂。源頼朝落馬。
- ・大石さんの記憶力の素晴らしさに感心しました。歌とか年号がすらすら出てきて、もちろん時間がかかる時もありましたが、この年でこれだけ出てくるのはすごいです。すぐに思い出せない時はユーモアたっぷりに言い訳されるところも微笑ましかったです。
- ・もうすぐ98歳とのこと。長寿おめでとうございます。脚が丈夫でびっくりいたしました。
- ・全部
- ・後半の戦後の辻堂の様子。大石さんとても元気でいらっしゃって歌もいくつも詠まれて感動しました。また辻堂の歴史についてお話して下さい。
- ・戦中の話。頼朝の話。
- ・もっとお辻堂の歴史にしぼって話をしてほしいかった。
- ・最後の平家物語の暗唱が良かった。
- ・直接辻堂に関する事の話を知りたかった。
- ・西行法師のお話が興味深かったです。

「辻堂の歴史を後世に」 アンケート結果

■ 今後講演会で取り上げてほしいテーマは何ですか。

- ・宿場としての辻堂を浮世絵との関連で読み解く。
- ・歴史的な生い立ちがわかるかにつれて現在の生活に楽しみと申しますかうれしくなって参りました。
- ・辻堂出身の文化人・科学者による専門テーマの講演
- ・辻堂にあるお寺・神社についてもっと知りたい。
- ・歴史研究家がたくさんいるので、いろいろな意見を聞きたい。
- ・鎌倉往還の今昔。
- ・もう少し辻堂の名前のいわれと地図を使ってやってもらいたい。
- ・辻堂地区の開発の歴史(特に1964年の東京オリンピック前頃から)
- ・辻堂の神社・寺の歴史。
- ・辻堂海岸演習地の歴史。
- ・地元で分野で活躍されている方の身近なお話を聞く機会がもっとあるといいなと思います。
- ・古代から近世までの辻堂の歴史。計画されているようなので期待しています。
- ・今日の講演を聞いてもっと辻堂の歴史を知りたいと思います。
- ・辻堂の集落のはじまり、十七氏族。
- ・戦中・戦後の辻堂のリアルな体験をもっと聴いてみたいです。
- ・災害(地震・火災・津波)に関する件。
- ・関東大震災時の辻堂地区被害等について。
- ・辻堂ならではのディープなお話が聞きたいです。
- ・戦争のときの実体験をもっと詳しく聞きたい。
- ・辻堂に最初に定住した人たちの名前が城南の二ツ谷稻荷(諏訪神社)に辻堂道行があり、そこに8人名前があります。その人たちの末えいが石井、山田、桜井、曾我、相澤、落合などの名前に残ったと思います。
- ・辻堂元町の人形山車の由来について。

■ 今後「まちづくり会議」でやって欲しい事業や「まちづくり会議」に対してご意見があればお聞かせください。

- ・世代間協働可能な企画(植樹、清掃など)。地の人と転入者の交流。
- ・辻堂の散歩会。歴史を学ぶ会。辻堂と戦争。
- ・辻堂プライドはジャストアイデアでした。
- ・今回の講演会について演台が欲しい。演者が着席で話せるように、ハンドマイクは大変だと思う。
- ・高齢者から若い人、子供たちまで共有出来る場、お話を聞く機会がたくさんあるといいな思います。
- ・辻堂や藤沢市の歴史講演会をもっと企画してください。(古代～現代まで)
- ・今回の事業でホールが少し寒かったです。
- ・コミュニティバスの運行を希望します。
- ・辻堂に最初に定住した人たちのことそしてどこへ行ったのか。

「辻堂の歴史を後世に」 アンケート結果

- ・続、木下恵介関連展。
- ・辻堂駅南口の活性化。
- ・歴史研究会の成果発表。
- ・OKスーパー前の自転車あぶないです。公道ですね。八百屋の前もです。
- ・海浜公園は素晴らしい立地に恵まれておりますが、まだ利用者が少ない。桜などを増やす等、ダイナミックな改良があれば期待しております。
- ・辻堂は昨今人気が高まっており、サーファーなど多くの新しい人たちが増えています。そういう方と交流し、新しい風も取り入れてほしい。
- ・交通渋滞を解消させるための手段、方法。SSTからJRをまたぐ架線の計画は現在どうなっているのか。推進してほしい。

令和3年度 第12回 辻堂まちづくり会議福祉部会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)3月17日(木) 13:30~15:00

(開催場所) 辻堂市民センター ホール

(出席者) 野澤委員、近藤委員、鷹野委員、松尾委員、丸山委員、小泉委員、北野委員、河住委員

(事務局) 辻堂市民センター 森、守谷
地域共生社会推進室 山中、棚澤

- (議題等) 1. 福祉部会の今後の取り組みについて
2. 今年度の振り返り
3. その他

〈議題〉

1. 福祉部会の今後の取り組みについて

前回の議事録に基づき、障がい者の保護者の方々との意見交換について振り返りを行った。

【意見等】

- ・以前白浜養護学校と交流があった頃の話もあり、自身とつながる話があったので今回このように話を聞くことができ大変ありがたいことだと感じた。
- ・当事者の方が住んでいる周囲の人々との関りが少なくなっているという話を聞き、こどもの頃から地域の方々と交流を持ち、理解してもらえるよう何かできないかと思った。また辻堂は新しく住み始める方が増えており、そのような方々にも隣近所に障がい者がいても普通だと感じてもらえるようなまちづくりができていけたらと思う。
- ・今回来ていただいた方のお子さんはかなり重度の障がいをお持ちのようだったので、比較的軽度の方の話も聞いてみたいと感じた。重度の方は車椅子に乗っているなど見てすぐわかるため周囲の理解を得やすいが、ぱっと見てわからない方については周囲から引かれてしまうことが多く、そのような方のほうが地域に出にくいのではないかと。
- ・軽度の障がいがある方については、やはり避けられやすいことが多く、地域でそういった方への理解を浸透させていく必要があると感じた。
- ・障がいがある成人の方については、話を聞くと子どもの頃につまずきや生きづらさがあったのだと思われる方が多い。
- ・以前対応した障がいがある方のエピソードとして、小学校の際に先生方の大きな協力があり、障がいがあるかどうかではなく、苦手なものが多いという個性として周囲の生徒に対してわかりやすく伝えていたというケースがあった。現在は立派に高校生になっているという。

障がいを理解してもらおうということはもちろん大事であるが、障がいという枠組みにとらわれずに「この人の生きづらさはこういうところにある、みんなもそういうことがあるよね」というわかりやすい理解が浸透していくとよいのではないかとと思う。

- ・地域の地区レクなどに障がい者が参加し自然と交流が生まれるような環境があるとよいと思った。
- ・保護者によって地域に出たい人と、周囲にあまり話したがらない人がいるので難しい面がある。
- ・周囲から見てわかりにくい方々は歯がゆい面も多いと感じた。それが個性だとみんなが思うようになるとよいと思う。
- ・今まで障がいがある方との関りを持ったことがなかったが、障がいの有無によって区別することも差別になるのではと思う点もある。障がい者にフォーカスをあてた取り組みは周囲との差別になってしまうのでは？と思ってしまうところもあり難しい。
- ・勤め先で障がい者を見かけると、自身は当たり前としてとらえているが周囲の方が避けるような場面を見かけて、接する機会がないことで違った目で見えてしまうのだと思った。当たり前と思えるようになるとよいと思うし、障がいの有無に限らず参加できるイベントなどができるとうい。以前横川さんの話を聞いた際にも、障がい者の支援ではなく「共生」という話があったと思うが、そういった面でつながる部分があると思う。
- ・辻堂は比較的あたたかく受け入れてくれるという意見がある一方で、同じような方とのつながりがないということで、需要がある部分に対してセンターを通じてのつながりや何かイベントなどで少しでも次につなぐ環境づくりができればと思う。
- ・高齢者の相談を受ける中でも、家族に認知症と障がいがあるというケースはある。土日にそういったことの相談できるところが欲しいという意見も聞く。介護保険の制度ができてから高齢者に対しての相談窓口は比較的増えたと思うが、障がいに対しての相談は中々近くにないと思うので、行きづらさもあると思う。
- ・高齢や障がいに限定したイベントはかえって差別的に感じてしまうところがあるため、自然と様々な人が交わることでできるイベントがまちづくり会議をきっかけにできたらと思う。
- ・以前リノアの方が市民センターで避難体験を行ったが、限定した対象者に対してだけではなく一般的な避難訓練を行い様々な方に参加してもらえうような形にし、それをきっかけとした交流の場づくりができないか。
- ・普段定例的に行っている防災訓練に、障がい者の参加も積極的に推進するよう各自治体・町内会に働きかけができないか。
- ・子どもの預け先と地域の関わるシステム作りが必要という話があったが、預け先が一つのグループとして防災訓練に参加できるようにしてはどうか。
- ・防災の面でも、高齢、障がい関係なく互いに手助けできる方法を考えるつながりを作れるとういと思う。
- ・障がいの方は大家さんの理解も得にくく不動産探しも難しい。偏見も多いと感じる。
- ・昔に比べ障がいという判断の基準が低くなっている？と感じる面もある。昔はあまり気にしていない部分もあった。
- ・地域に出ようと思う人とあまり出たがらない人がいるという面では、障がいも認知症も同じようなところがあると感じた。認知症サポーター養成講座があるように、障がいに対しても何かできることがあればと思った。

- ・何か定期的なイベントなどに参加しようと思っても、自分の身支度だけではなく子どもの用意も必要になり、次回参加しようと思ってもなかなか来づらくなってしまう傾向があると感じる。そういったことを考えると地域のお祭りくらい気軽に参加できるものがよいと思う。個人的には防災訓練に関しても障がい者に特化したものを行うことで気兼ねなく参加できる方もいるのではないかと思う。
- ・社協で行っている障がい者向けのバス旅行は毎年楽しみにしている方が多く、保護者の方々にとってもよい息抜きになっている。コロナが収まった際にはまちづくりでも何か行いたい。

2. 今年度の振り返り

→R4 事業予定表（案）に基づき振り返りを行った。

【意見等】

- ・2年前に新しくできた福祉部会であるが、多くの意見交換が行えたことや、いくつかの事業も行うことができ充実した2年間だった。

3. その他

- ・来年度の部会の構成についてはどうなのか？
→新しくまちづくり会議に参加する委員もいることから、4月以降希望を調査し構成していく。
- ・令和4年度の事業予定について、白浜の展示会などは行うという前提でよいか。
→白浜の展示については公民館との共催の中で継続して行うという話になっていたため行うことになると思う。またそれ以外の事業については来年度の話し合いの中で決定していくこととする。

以 上

令和3年度 第12回 広報委員会 議事録

(開催日時) 2022年(令和4年)3月11日(金) 10:00～12:10

(開催場所) 辻堂市民センター 地区防災拠点本部室

(出席者) 吉田秀委員、尾崎委員、伊藤委員、鷹野委員、久保田委員、
事務局 中丸、片山、宮木

- (議題等)
- 1 オンラインcafe(辻堂小学校での内閣府講演)の結果について
 - 2 「辻堂まちづくり会議だより」について
 - 3 令和3年度の振り返り及び令和4年度の事業計画について
 - 4 その他

〈議題〉

1 オンラインcafe(辻堂小学校での内閣府講演)の結果について

別紙結果報告のとおり

【意見等】

- ・4年生はオンラインのつながりもスムーズで、興味をしめしていた。
- ・6年生は4年生と異なり神妙に聞いていた。4年生とは違う関心の高さだった。
やってよかった、楽しかった、という意見が多くあった。
- ・開会のあいさつは会長の背中しか映ってなかった。
→開会のあいさつは児童の顔が見えないようにパソコンの向きを変えずに行ったが、閉会の
あいさつ時には工夫して行えた。次回開催時には気を付けて行う。
- ・学年や開催時期によってとらえ方が異なる。

○結果報告の内閣府関係傍聴者の人数と、教育総務課の人数を入れ集計をまとめる。

2 「辻堂まちづくり会議だより」について

進捗・今後の予定は次のとおりです。

- ・3/8(火) 最終原稿を確認・校了。3/9(水)～業者にて印刷開始。
- ・3/15(火) 辻堂市民センターに納品予定。
- ・3/18(金) 広報ふじさわ3月25日号に合わせて配布

【意見等】

- ・3/15(火) 仕分けのお手伝いは必要か。
→13時から伊藤委員、久保田委員、鷹野委員に仕分けをお願いした。

3 令和3年度の振り返り及び令和4年度の事業計画について

○令和4年度の事業計画については事業計画(案)とする。※の文章を削除する。

【意見等】

- ・辻堂まちづくりだよりは、辻堂まちづくり会議だよりとする。
- ・令和3年度全体集会の実施結果、何でもディスカッションは、フリーディスカッションとする。
- ・令和4年度の事業計画のInstagramの開設は全体集会で上がった意見か。Instagramは個人情報のセキュリティに難があり、若者はフェイスブックに戻っている。
- ・令和4年度の事業計画について、公民館まつり出展内容は、来年度の担当委員で決めてもらう。全体集会は年1回開催と入れる。フェイスブックページの運営とInstagramページの開設はまとめて、SNSの活用とし基点にするSNSと、それを元に更新するSNSというように、体系的に管理すべき。このような活用については、マニュアル作成をして継続することが大切ではないか。
- ・まちづくりのフェイスブックページにコメントを入れないと、すぐに他の投稿に埋もれてしまう。コメントを入れるとタイムラインの上位にあがるので、いいねだけでなくコメントをいれてほしい。
- ・まちづくり委員にSNSの勉強会を開催してはどうか。
→SNSは次々アップデートされていく。勉強会をしてもすぐに操作方法が変更になったりする。
- ・公民館まつりで、SNSの使い方を教えるコーナーを作ってはどうか。

4 その他

【意見等】

- ・予算とまちづくり会議の進め方の関係がちぐはぐで納得ができないことがある。
- ・来年度の事業予定について、現委員が納得していても、次の委員が決定したら、最初に事業計画について考えてほしいことを事務局から伝えてほしい。
- ・子ども回覧板、辻堂小学校の事業等子ども向けの事業は広報が続けることなのか。きっかけは広報が担当しても、人手も必要になるので、各部会や関係協議体を巻き込んでいき、事業が1回で終わらないようにすることが大切。事業は1回目より2回目の方が大切。広報は本来の広報活動に主をおいて行ったほうが良いと思う。
→これまでまちづくりで始めた美化活動は生活環境が、わんわんパトロールは防犯協会がチームレスキューはくらし安心・安全部会が行っている。子ども回覧板、ムーンショットはオンラインだから広報の仕事でよい。
→事業は単発であっても、また熱量が上がった時に復活すれば良い。
→辻堂小学校の事業は青少協や三者連携を巻き込んでいったほうが良い。
- ・各部会の中にある子どもの事業についてまとめて、子ども部会を作ってはどうか。
→各部会の中に子どもの問題をもっていたほうが良いのではないかと思います。

- ・各委員に部会の希望をとってほしい。交流部会で話をするときに、子ども、高齢者の話はでるが、障がいに関わった人がいないと、なかなか障がい者の観点からの話が出てこない、福祉部会に福祉専門の人が偏っているので、各部会にいてもらったほうがいいと思う。
 - ・全体会議で部会のことを聞くだけで、他部会のことにはわからない、状況の共有ができない。部会ごとでなく全体で活動していきたい。各部会をつなぐ広報が大切。
- 駅前掲示板、朝市当番も部会ごとでなく、各部会から出してもらってはどうか。
- 委員の意識改革が大切。イベントは全員で行うもの。
- 協議会の代表はまちづくり会議の報告を協議会の会議で行い、協議会を巻き込みながら活動していく必要がある。

以 上

辻堂まちづくり会議第4回オンラインカフェ結果報告

開催日時：令和4年3月4日（金） 10時45分～11時30分

開催場所：内閣府からオンラインにより開催

※辻堂小学校及び辻堂市民センター地区防災拠点本部室から視聴

参加状況：詳細な参加人数については未集計

内訳

辻堂小学校4年生（5クラス）	約200人
辻堂小学校6年生（5クラス）	約190人
辻堂小学校教職員	13人
教育委員会職員	2人
まちづくり会議委員	5人
事務局	4人
内閣府（講師）	1人
内閣府関係傍聴者	14人

- 1 開会のあいさつ（尾崎委員）
- 2 内閣府（科学技術・イノベーション推進事務局 未来革新研究推進担当 土井氏）によるムーンショット型研究開発制度についてのオンライン講演
○小学生に問いかけを交えながら、講演を行った。
- 3 閉会あいさつ（尾崎委員）

以 上

辻堂小学校6年生の公演参加後の振り返り（抜粋）

- ・目標1つ1つていねいに説明してくださって、良かったなと思った。
- ・資料が小学生にもとってもわかりやすくてよかった。
- ・ムーンショット型研究開発制度について、もっと知りたくなったから、調べてみようと思った。
- ・地球環境、食料、AIやロボット、健康等たくさん取り組んでいてすごいなと思いました。
- ・将来この計画が本当に実現されたらもっと人々が暮らしやすい社会になると思います。
- ・今まで考えたり、聞いたことのない解決法ばかりで、「こういった視点で解決法を考えることもできるのか。」と新たに学んだことが多かった。
- ・実現できるかわからないようなことに取り組んでいて、とてもおどろきました。
- ・ウシのゲップが地球温暖化につながると聞いてすごくびっくりしました。
- ・とけるプラスチックは良い考えだと思いましたが、とけるからといって気がゆるんでしまうかもしれないと思った。
- ・ロボットを増やして、人間がしなくて良いことをしてくれるのは良いと思ったが、ぼうそうしてしまったらどうするのだろうと思った。
- ・昆虫食みたいなのが今回でてきて自分は虫が嫌いでコオロギせんべいが売っていたときうえて思ったけれど、今回おいしいときいて印象がかわりました。
- ・内閣府は様々な課題解決に向けての制度を作っていることがわかった。

- ・内閣についてあまり知らないので、知れてよかった。内閣府の他の活動を知りたい。

- ・人生で初めて、内閣府の人たちと関わりを持てて、この機会を元にして地球に還元されるような取り組みをしようと思った。

- ・日本には多くの問題があることがわかり、僕も協力して、問題を解決しようと思いました。

以 上

令和4(2022)年度 広報委員会事業予定表(案)

令和3年度			令和4年度		
事業名	内 容	実施結果	事業名	内 容	目的や課題
駅前掲示板の活用	・月ごとに飾り付けを変えて人目につく 掲示板にする ・他団体に活用を促す	・各部会で輪番として、各月飾りつけや事業報告、募集の掲示を行った。 ・他団体から、計2件の申請があり、ポスター等を掲示した。	駅前掲示板の活用	・月ごとに飾り付けを変えて人目につく 掲示板にする ・掲示希望のあった他団体等も紹介する	◆目的◆ 活動や事業の周知を行いまちづくり会議の認知度を高める。
辻堂公民館まつり 出展	・移転のため当初から開催予定なし	-	辻堂公民館まつり 出展	・2022年10月開催予定	◆目的◆ 活動や事業の周知を行いまちづくり会議の認知度を高める。
辻堂地区全体集会	2022年2月5日に実施 ・オンライン開催 ・第1部で活動報告を実施 ・第2部で4つのグループに分けたディスカッション	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催時間を1時間短縮し、ハイブリット型からオンライン開催のみに変更した。 ・参加人数46人(うち一般参加者14人) ・令和2、3年度のまちづくり会議及び社会貢献活動実習生の活動報告 ・辻堂に関するフリーディスカッション	辻堂地区全体集会	・実施日、実施方法未定(年1回開催)	◆目的◆ 活動報告や課題の抽出
子ども回覧板	・コロナ禍の中、遊び場所、学校での出来事などを話す子ども井戸端会議を開催し、オンラインで配信する新しい形の子ども回覧板を展開。	・新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	子ども回覧板	・実施日、実施方法未定	◆目的◆ (1)子どもの地域参加を促し次世代の担い手を育成する。 (2)子ども向けの情報を集めて発信し、地域に愛着をもってもらう。
オンラインcafe	・Zoomを利用したディスカッションを実施し、活動報告や意見募集を行う	・8月 テーマ「SDGsについて語ろう」 ・12月 テーマ「辻堂だからできること」 ・3月 辻堂小学校での内閣府オンライン講演の実施	オンラインcafe	・Zoomを利用したディスカッションを実施し、活動報告や意見募集を行う ・浜見、高砂、八松小学校での内閣府オンライン講演の実施	◆目的◆ 活動や事業内容、辻堂の魅力等の情報を発信し、認知度の向上、まちづくりへの積極的参加を促す。
辻堂プライド	・辻堂プライドの浸透及び ロゴマークの活用 	・各種イベントやだよりへのロゴマークの掲載 ・辻堂地区全体集会のチラシとともに、ロゴマークデザインの缶バッジを配布	辻堂プライド	・辻堂プライドの浸透及び ロゴマークの活用 	◆目的◆ (1)まちづくり会議の認知度向上 (2)まちづくりへの積極的参加
辻堂まちづくり会議 だよりの発行	・広報ふじさわ2022年3月25日号で 全戸配布 ・HPへの記事掲載	・12月素案、原案作成業者入札依頼、1月業者決定、 3月15日納品、3/25号に合わせて全戸配布した。	辻堂まちづくり会議 だよりの発行	・2023年3月に全戸配布 ・HPへの記事掲載	◆目的◆ 活動や事業の周知を行いまちづくり会議の認知度を高める。
ホームページ	・全体会議議事録や事業案内、事業結果を掲載	・辻堂ドットコムに全体会議議事録や事業案内、事業結果を掲載した。	インターネットを活用 した情報発信 (ホームページとフェイスブックの運営を統合)	・ホームページやSNSなどを活用した 情報発信 ・全体会議議事録や事業案内、事業結果を掲載 ・辻堂まちづくり会議のフェイスブック ページを運営する ・湘南工科大学の学生による情報発信	◆目的◆ 活動や事業内容、辻堂の魅力等の情報を発信し、認知度の向上、まちづくりへの積極的参加を促す。
フェイスブックページ の運営	・辻堂まちづくり会議のフェイスブック ページを運営する ・湘南工科大学の学生による情報発信	・各種イベントへ参加し、写真撮影、記事を投稿 ・湘南工科大学社会貢献活動(ICT)実習生1名 を受け入れ、若者目線の記事を投稿。			

令和 4 年 度

辻堂まちづくり会議 開催日程

原則として、「毎月第 4 木曜日 1 3 : 3 0」から開催

会場：辻堂市民センター ホール

No.	開催予定日時			備考
①	2022年4月28日	(木曜日)	13:30～	
②	2022年5月26日	(木曜日)	13:30～	
③	2022年6月23日	(木曜日)	13:30～	
④	2022年7月21日	(木曜日)	13:30～	第3週に実施 (第4週は例大祭)
⑤	2022年8月25日	(木曜日)	13:30～	
⑥	2022年9月22日	(木曜日)	13:30～	
⑦	2022年10月27日	(木曜日)	13:30～	
⑧	2022年11月24日	(木曜日)	13:30～	
⑨	2022年12月15日	(木曜日)	13:30～	第3週に実施
⑩	2023年1月26日	(木曜日)	13:30～	
⑪	2023年2月16日	(木曜日)	13:30～	第3週に実施
⑫	2023年3月23日	(木曜日)	13:30～	

※ 予定のため変更される場合があります。